

株式会社ニッポン知多工場、稼働開始 スマートファクトリー化を推進

株式会社ニッポン（代表取締役社長：前鶴俊哉 本店：東京都千代田区）は、2023年10月より愛知県知多市において進めておりました新たな製粉工場の建設を完了し、2026年2月より「株式会社ニッポン知多工場」（以下、知多工場という）として稼働を開始しました。なお、当社において製粉工場の新設は、福岡工場以来40年ぶりとなります。

当社はこれまで、中京・近畿地区における製粉工場再編の一環として、神戸甲南工場の増強および大阪工場の閉鎖を進めてまいりました。今回の知多工場の新設と今後予定する名古屋工場の閉鎖により、同地区での再編を完了し、お客様へ安定的かつ効率的に製品をお届けできる生産体制をより一層強化いたします。

知多工場は、大型穀物船の接岸が可能な立地条件を備えており、当社が培ってきた技術力に最新の自動化技術等を組み合わせることで高い生産性を実現しています。さらに、自然災害への強靱性、省エネ性能、環境配慮を兼ね備えたサステナブルな最新鋭の製粉工場です。

知多工場の主な特長は以下の通りです。

■自動化技術とDXの活用によるスマートファクトリー化推進、安定した高品質な小麦粉の提供

安定操業に向け、流量・製品分析などを自動測定・調整するシステムを導入することで、製品の切り替え作業を自動化し、作業負荷軽減を実現します。さらに、各工程の見える化・ビッグデータ蓄積と利活用・生体認証での入退場管理等によりスマートファクトリー化を推進しています。

蓄積したノウハウを活用した製造工程（フローシート）や製造システムに、これらの機器を組み合わせることにより、安定的に高品質な小麦粉を創出するとともに、お客様の品質改良ほかのご要望に速やかに対応することを可能にしています。

また、立体自動倉庫では、搬入および搬出時に、製品をロボットが自動で仕分けし搬送するシステムを導入し、作業の無人化を推進します。これにより、トラックの待機時間削減や荷役作業負荷軽減など、物流問題の解決にも寄与します。

■自然災害への対策

工場が沿岸部に位置すること、および大地震の際の津波影響を考慮し、有事の際にも被害を最小限に抑えて生産を継続できるよう、建物1階床レベルの嵩上げを行いました。さらに、主要電気設備を2階以上に設置することにより、浸水による生産機能停止のリスク低減を図っています。

■省エネ・環境を含めサステナビリティに配慮

知多工場では、当社国内工場で4例目となる太陽光発電設備を導入しました。また、使用電力の100%を実質再生可能エネルギー※とし、ZEB Readyの取得など、高い省エネ性能を実現しています。当社グループのGHG排出量削減目標の達成に向けた、当社初のカーボンニュートラル工場となります。今後も環境負荷低減に向けた取り組みを推進し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※非化石証書の利用により実質的に再生可能エネルギー100%としています。



知多工場外観

ニッポンは、製粉事業の基盤強化を継続するとともに、総合食品企業としてさらなる成長を目指し、国内外での積極的な事業展開を進める礎を築いております。今後も各事業において積極的かつ堅実な事業投資を行い、時代に即した製品を安定的に供給してまいります。

【知多工場概要】

- 工場名 : 株式会社ニッポン 知多工場
- 所在地 : 愛知県知多市北浜町 24 番地 62
- 生產品目 : 業務用小麦粉
- 敷地面積 : 35,820 m²
- 主な建物 : 工場本館、事務所棟および附属設備
- 総工費 : 約 255 億円
- 工場長 : 小松 一彦
- 設備能力 : 1 日当たり小麦挽砕能力 600 トン (2 ライン)